

社会人×学生 の経験談

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科
博士後期課程3年次

経歴

図書館情報大学（筑波大と統合）卒業

✓ 公共図書館職員（現職）

- 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士前期課程
（キャリアアッププログラム）修了

- 2017年4月～

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程

進学の動機

①業界の変化

- 現場でどんどん図書館が変化していることを体感
- これからの図書館を支えるためには高い能力が求められる

②キャリアプランを再考

- 司書としてのキャリアを10年以上積む
- 専門職としてさらに高みを目指す

+α

- (多分) 異動しないだろうというタイミングで受験する



職場との関係

◆プライベートでの勉学

◆特段の考慮・支援制度なし



職場（上司）には相談しました

- 時には休むこともある（調査, 発表, 執筆）
- 研究対象（図書館）としての協力
- 専門分野を学びなおすという自己PR

入学試験 一般選抜2月期受験

検討

- 2～3か月程度，受験準備にかかるため，業務の繁忙期と要相談
- 修士から進学する場合，2月期受験は修論執筆・提出と同時進行

準備

- 事前に志望する指導教員から内諾をいただく（早めに相談を！）
- 在職者は所属長による受験承認書の提出も必要

受験

- 発表時間を守り，簡潔にまとめる！...難しいけど (><)
- 受験の目的や仕事と研究が両立できる見通しも回答できるように

研究テーマ

- 公共図書館サービスに関するテーマを設定
- 博士前期課程から取り組み，博士後期課程でも継続
- 現場のサービス実践が研究への足掛かりになる



学生生活



- **土日や有休，終業後に研究活動**

- 博士後期課程は講義科目より演習中心
- 定期的にゼミに参加（時には面談も実施）
- 学会への参加，研究発表



- **研究環境**

- 東京キャンパスも図書館，研究室，サテライト室あり
- 図書館は時間外利用申請で開館時間以外も入館できる
- 学会発表支援制度あり（参加費・交通費等の支援）

仕事×研究の苦勞

- ◆ スケジュール調整
- ◆ 研究時間の捻出
- ◆ モチベーションの維持
- ◆ 健康管理



仕事×研究の魅力

- ◆ 人脈の広がり
- ◆ 司書（専門職）としての成長
- ◆ 知識を現場に還元



研究と仕事を 両立させるコツ

両方頑張る
というよりは
バランスよく取り組む

